

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	須崎釣地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 笹岡 博（須崎釣漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	須崎釣漁業協同組合、須崎市、高知県中央漁業指導所
オブザーバー	

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地 域：須崎市（須崎釣地区） 漁業種類：一本釣り漁業（51）、大型定置網漁業（1） 漁業者数：69名（兼業、雇用者含む）※（）は経営体数
-------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

高知県中央部に位置する本地域は、日本で最後にニホンカワウソが確認されたことで有名な新莊川を有し、木材、石灰石、セメント等の産業が盛んで、その取扱量は高知県の約半数を占める。昭和40年に重要港湾として指定されている須崎湾を中心に、南東には野見半島、戸島、中ノ島などに囲まれた野見湾が、須崎港からさらに下流へ下ると須崎魚市場が立地している。須崎湾はリアス式海岸となっており水深が深く、また、湾内が広いため、湾内では機船船曳網漁業や、養殖業が営まれている。

当地区の主な漁業は、須崎湾外で行われる定置網漁業であり、後継者の確保や、近年は急潮による漁具の流出等への備えが課題となっている。また、沿岸域での釣漁業等の経営体が漁協組合員として所属しているが、近年は資源の減少、燃料や資材費の高騰、魚価の乱高下等により、漁業経営は不安定な状況にある。

また、日々の水揚げが行われる須崎魚市場は、年間水揚金額が8億円程度と県内有数の水揚金額を誇り、須崎市のみならず近隣の土佐市、中土佐町等からの水揚を行う漁業者もおり、本県中央部で操業を行う沿岸漁業者にとって重要な施設となっている。しかし、同市場は建設後約45年が経過し老朽化が著しく、日々清掃等は行っているものの、老朽化を原因として衛生管理体制が十分とはいえず、また、南海トラフ地震に耐えうる耐震性を有していない等の理由から、市場の更新を検討している状況である。

こうした状況の中、当地区の定置網漁業においては、飲食店等を対象として高鮮度処理魚の直売を開始しており、年々販売額を伸ばしている。

(2) その他の関連する現状等

■地域イベント

須崎市周辺では「新子祭り」、「須崎お魚祭り」などいくつかの漁業を対象とした地域イベントが開催されており、地域内外を問わず客が来場し、地域水産物のPRに貢献している。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

■漁業収入向上の取組

- 魚市場の更新による衛生管理体制の改善
- 定置網漁業経営体における直接販売の継続
- 地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大
- 新規就業者の確保、指導

■漁業コストの削減

- セーフティネット、漁業共済「積立プラス」への加入促進
- 省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底
- 定置網漁業における新規漁網の導入
- 船底清掃等の実施に必要となる上架施設の改修

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

定置漁業権に基づく操業期間の制限や、TAC対象魚種の漁獲量規制等について遵守する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和2年度）以下の取組により、基準年より1.8%の所得向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○魚市場の更新による衛生管理体制の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎魚市場は建築後約45年経過し、老朽化が著しい状況にあり、日々清掃等を行っているものの、衛生管理体制が十分整っているとは言いがたい状況にある。また、南海トラフ地震に耐えうる耐震性を有していないことから、市場の更新を予定しており、市場の基本設計を行う。併せて、市場は3漁協（須崎町漁協、錦浦漁協及び須崎釣漁協）で共同管理することから管理方法等について協議を行う。 <p>○定置網漁業経営体における直接販売の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、定置網漁獲物に血抜きや神経締め等の高鮮度処理を行い、飲食店等への直接販売を行う。また、県内外の商談会等に参加し、販路の拡大に取り組む。 <p>○地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、地元で開催される「須崎お魚祭り」、「新子祭り」等のイベントの開催及び実施に協力し、須崎市で水揚げされるアジ、サバ等漁獲物の紹介・PRを行うことで産地としての知名度の向上と地産地消の推進に努める。 <p>○新規就業者の確保、指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進し、漁業者数の維持と将来的な水揚げ量の増加を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○セーフティーネット、漁業共済「積立プラス」への加入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築事業、積立プラス等の漁業収入安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。 <p>○省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、省エネエンジンの導入、船底清掃の励行及び出漁時間を早めるなどの減速航行を行う等の燃油消費量を削減の取組を行う。 <p>○定置網漁業における新規漁網の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業において必要となる漁網は、日々の操業で破れ等が発生し、漁業者が適宜修繕し使用しているが、古いものでは10年以上も前に購入したものを日々修繕して使用している状況である。このため、修繕費も年々増していることから修繕費の削減や省力化を目的とし、新型網などの情報収集を行う。 <p>○船底清掃等の実施に必要な上架施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底清掃等を行う際に必要となり、3漁協で共同管理する上架施設が老朽化し安全性の確保が必要となっていることに加え、レール幅が狭く比較的大型の19t船が上架できず、他の地域で上架していることから、上架施設の更新について検討する。

活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none">・ 漁業経営セーフティネット構築事業・ 漁業共済・ 水産業競争力強化緊急事業・ 漁業人材育成総合支援事業、漁業就業総合支援事業
-----------	--

2年目（令和3年度）以下の取組みにより、基準年より2.4%の所得向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚市場の更新による衛生管理体制の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・須崎魚市場の更新に係る詳細設計を行う。また、市場の管理方法等についての3漁協での協議を継続して行う。 ○定置網漁業経営体における直接販売の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、定置網漁獲物への高鮮度処理及び、飲食店等への直接販売の取組を継続して行う。また、県内外の商談会等に積極的に参加し、販路の拡大に取り組む。 ○地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、地元で開催される「須崎お魚祭り」、「新子祭り」等のイベントの開催及び実施に協力し、須崎市で水揚げされるアジ、サバ等漁獲物の紹介・PRを行うことで産地としての知名度の向上と地産地消の推進に努める。 ○新規就業者の確保、指導 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進し、漁業者数の維持と将来的な水揚げ量の増加を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティネット、漁業共済「積立プラス」への加入 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁業経営セーフティネット構築事業、積立プラス等の漁業収入安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。 ○省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、省エネエンジンの導入、船底清掃の励行及び出漁時間を早めるなどの減速航行を行う等の燃油消費量を削減の取組みを継続する。 ○定置網漁業における新規漁網の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業において必要となる漁網の更新について、これまで収集した情報を活用して規模、形状等の検討を行う。 ○船底清掃等の実施に必要となる上架施設の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・上架施設を更新し、上架作業をこれまで以上に効率的かつ安全に行う。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 ・漁業共済 ・水産業競争力強化緊急事業 ・漁業人材育成総合支援事業、漁業就業総合支援事業 ・浜の活力再生・成長促進交付金

3年目（令和4年度）以下の取組みにより、基準年より2.9%の所得向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚市場の更新による衛生管理体制の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・須崎魚市場の更新に着手する。また、市場の管理方法等について3漁協での協議を継続して行う。 ○定置網漁業経営体における直接販売の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、定置網漁獲物への高鮮度処理及び、飲食店等への直接販売の取組を継続して行う。また、県内外の商談会等に積極的に参加し、販路の拡大に取り組む。 ○地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、地元で開催される「須崎お魚祭り」、「新子祭り」等のイベントの開催及び実施に協力し、須崎市で水揚げされるアジ、サバ等漁獲物の紹介・PRを行うことで産地としての知名度の向上と地産地消の推進に努める。 ○新規就業者の確保、指導 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進し、漁業者数の維持と将来的な水揚げ量の増加を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティネット、漁業共済「積立プラス」への加入 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁業経営セーフティネット構築事業、積立プラス等の漁業収入安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。 ○省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、省エネエンジンの導入、船底清掃の励行及び出漁時間を早めるなどの減速航行を行う等の燃油消費量を削減の取組みを継続する。 ○定置網漁業における新規漁網の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業において必要となる漁網を更新する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 ・漁業共済 ・水産業競争力強化緊急事業 ・漁業人材育成総合支援事業、漁業就業総合支援事業 ・水産業成長産業化沿岸地域創出事業、沿岸漁業設備投資促進事業

4年目（令和5年度）以下の取組みにより、基準年より3.5%の所得向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚市場の更新による衛生管理体制の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・須崎魚市場の更新を継続して行う。また、市場の管理方法等について3漁協での協議を継続して行う。 ○定置網漁業経営体における直接販売の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、定置網漁獲物への高鮮度処理及び、飲食店等への直接販売の取組を継続して行う。また、県内外の商談会等に積極的に参加し、販路の拡大に取り組む。 ○地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、地元で開催される「須崎お魚祭り」、「新子祭り」等のイベントの開催及び実施に協力し、須崎市で水揚げされるアジ、サバ等漁獲物の紹介・PRを行うことで産地としての知名度の向上と地産地消の推進に努める。 ○新規就業者の確保、指導 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進し、漁業者数の維持と将来的な水揚げ量の増加を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティネット、漁業共済「積立プラス」への加入 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁業経営セーフティネット構築事業、積立プラス等の漁業収入安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。 ○省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、省エネエンジンの導入、船底清掃の励行及び出漁時間を早めるなどの減速航行を行う等の燃油消費量を削減の取組みを継続する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 ・漁業共済 ・水産業競争力強化緊急事業 ・漁業人材育成総合支援事業、漁業就業総合支援事業

5年目（令和6年度）以下の取組みにより、基準年より10.7%の所得向上を目指す。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚市場の更新による衛生管理体制の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・市場の更新が完了し、衛生管理体制が構築された須崎魚市場での鮮魚の取扱いを開始する。 ○定置網漁業経営体における直接販売の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、定置網漁獲物への高鮮度処理及び、飲食店等への直接販売の取組を継続して行う。また、県内外の商談会等に積極的に参加し、販路の拡大に取り組む。 ○地域イベントの開催による地域水産物の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協及び漁業者は、地元で開催される「須崎お魚祭り」、「新子祭り」等のイベントの開催及び実施に協力し、須崎市で水揚げされるアジ、サバ等漁獲物の紹介・PRを行うことで産地としての知名度の向上と地産地消の推進に努める。 ○新規就業者の確保、指導 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進し、漁業者数の維持と将来的な水揚げ量の増加を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティネット、漁業共済「積立プラス」への加入 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁業経営セーフティネット構築事業、積立プラス等の漁業収入安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。 ○省エネエンジン等への更新、省燃油活動の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、省エネエンジンの導入、船底清掃の励行及び出漁時間を早めるなどの減速航行を行う等の燃油消費量を削減の取組みを継続する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 ・漁業共済 ・水産業競争力強化緊急事業 ・漁業人材育成総合支援事業、漁業就業総合支援事業

(4) 関係機関との連携

4 目標

(1) 所得目標

地区全体の漁業所得の 向上 10.7%以上	基準年	平成 28～30 年度平均：漁業所得 千円
	目標年	令和 6 年度 : 漁業所得 千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

別紙の通り

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット 構築事業【国】	燃油価格高騰時に補填を受け漁業経営の安定を図る。
漁業共済【国】	不漁時に補填を受け、漁業経営を継続するための備えを行う。
漁業人材育成総合支援事業 【国】 漁業就業総合支援事業【一 社】	意欲ある若者の漁業就業を支援し、後継者を確保する。
浜の活力再生・成長促進交 付金【国】	漁業の生産基盤となる市場、上架施設等をより効率的な施設に更新 し、漁業生産の継続を図る。
水産業競争力強化緊急事業 【国】 水産業成長産業化沿岸地域 創出事業【国】 沿岸漁業設備投資促進事業 【一社】	漁業の生産基盤となる漁船、推進機関、漁業機器等を省エネ機器等に 更新することにより、漁業生産高の増加を図る。